

米大統領・議会選速報：共和党優位の情勢、金融市場はリスクオンで反応

- 大統領選は共和党トランプ氏が制したか
- 上院は共和党が過半数を獲得、下院も共和党が優勢
- 開票ペースは前回2020年より早く、間もなく決着か

■ トランプ氏の返り咲きが濃厚に

開票作業が進む米大統領・議会選挙は、事前の支持率が示した通り混戦模様となっています。日本時間6日16時時点の開票速報では、大統領選では共和党トランプ氏が過半数を獲得した模様、上下院でも共和党が優勢となるなど、レッドスweep(大統領・上下院とも共和党)の可能性が高まっています(図1)。(日本時間11月6日16:00時点速報)

市場ではリスクイベントを通過したことで株高・円安が進み、仮想通貨なども急騰する一方、共和党の優勢から財政拡大観測が高まり米10年国債利回りは4.4%台に達するなど、相場には大きな動きがみられています。今回の選挙の勝利宣言はまだ両党ともに出されておらず、今後勝敗が決するまでは報道等で大きく市場が動く可能性に注意が必要でしょう(図2)。

■ 共和党政策は株高要因も、リスクを孕む

共和党トランプ氏が掲げる政策は各種の減税等から株高が期待されるものの、財政赤字も拡大する可能性があります(図3,4)。既に米債券市場では金利が上昇傾向にあり、今後各種政策が実行されることで米景気が必要以上に過熱することになれば、インフレが再燃するとの連想が働く可能性もあります。また、ウクライナや中東情勢などに対する米国の姿勢も変化する可能性があり、地政学リスクが高まる可能性に注意が必要でしょう。もっとも、選挙結果は未だ確定しておらず、引き続き両党の動向に神経質な相場展開が続く見込みです。(清水)

【図3】 共和党優位のシナリオが現実味を帯びる

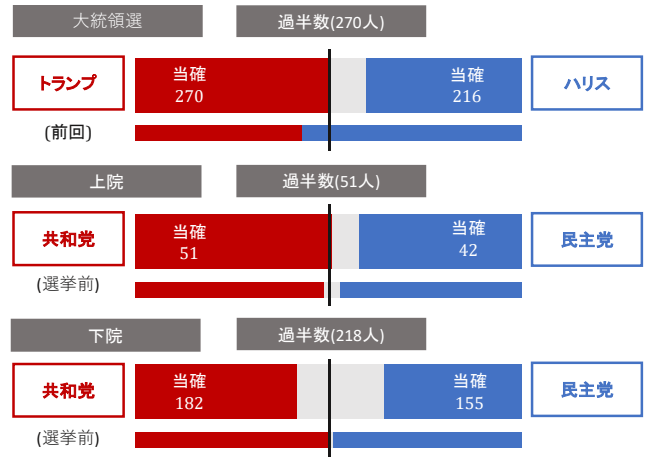
米国 大統領・議会選後のマーケット想定

	大統領選：共和党勝利	大統領選：民主党勝利
議会も統一	<ul style="list-style-type: none"> ・株価は当初ボラティリティ拡大。その後上昇を想定(減税)。 ・長期金利は短期で上昇も。その後は3.0-3.5%に回帰 	<ul style="list-style-type: none"> ・株価は一旦、大幅調整。 ・長期金利低下、景気低迷を織り込むが、その後は財政赤字を背景に上昇。
ねじれ議会	<ul style="list-style-type: none"> ・株価は当初ボラティリティ拡大し、下押し圧力が高い。(減税等の株価にポジティブな政策が実行されにくい) ・金利は当初低くも、財政問題が懸念されるタイミングでは金利上昇のリスク 	<ul style="list-style-type: none"> ・株価への影響は限定的(左派的政策通りにくい) ・金利は当初低くも、財政問題が懸念されるタイミングでは金利上昇のリスク

出所) 各種報道より当社経済調査室作成

【図1】 大統領選・上下院選ともに接戦

米国 選挙結果速報(日本時間16:00時点)

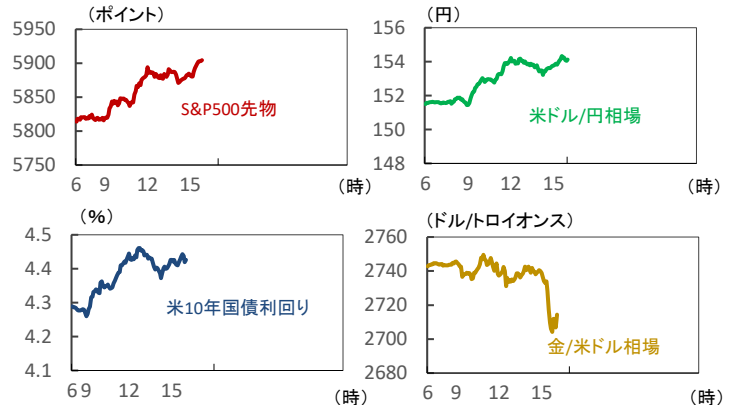


注) 前回大統領選は2020年の結果。上院下院の選挙前議席は2024年10月末時点、灰色は無所属または空席を示す。今回の投票結果は日本時間2024年11月6日16:00時点の各種報道に基づく。

出所) 各種報道より当社経済調査室作成

【図2】 市場はリスクオンで反応

主要金融市場の推移



注) 表記は日本時間。2024年11月6日午前6時から午後16時00分時点までのデータ

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図4】 両党ともに財政拡大路線

米国 各党の政策と規模

トランプ	(項目、単位は兆ドル)	ハリス
▲ 9.15	税制改革	▲ 4.75
▲ 0.15	ヘルスケア	▲ 0.75
▲ 0.40	防衛費	-
-	育児・教育	▲ 1.40
▲ 0.35	移民対策・国境警備	▲ 0.10
▲ 0.15	住宅関連	▲ 0.25
▲ 10.20	歳入拡大要因の合計①	▲ 7.25
-	企業・富裕層増税	4.00
2.70	関税	-
1.00	その他歳入	0.25
3.70	歳入拡大要因の合計②	4.25
▲ 1.00	国債利払い③	▲ 0.50
▲ 7.50	合計①+②+③	▲ 3.50

注) ▲は歳入拡大、+は歳入拡大を示す。2024年10月31日時点。

出所) CRFBより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会